

2020年10月29日

「子どもの貧困問題」への新たな取組み

～特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだんへの寄付金贈呈～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、社会的擁護下（※1）で育った子ども・若者たちの自立支援を主として取り組んでいる、特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん（理事長 湯浅 美和子、以下同法人）に寄付金を贈呈し、「子どもの貧困問題」への支援を実施いたします。

当行では、これまでも地域CSR活動の一環として次世代育成支援を実施してまいりましたが、昨今重要性が増している子どもの貧困問題について、新たに取り組むことといたしました。

具体的には、当行からの寄付金を、同法人が運営している「子ども・若者未来基金」へ拠出し、「緊急サポートSOS（※2）」資金として、公的支援制度等の対象とならない子どもたちを援助するためにご活用いただきます。

貧困の解消は、SDGs（持続可能な開発目標）の項目にも指定されている取り組むべき課題です。今後、当行は毎年継続的にこの取組みを実施していく予定であり、息の長い地域CSR活動として取り組んでまいります。

※1：社会的擁護

保護者のいない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。（出典 厚生労働省ホームページより）

※2：緊急サポートSOS

急激な社会の変化や病気などにより生活が立ち行かなくなった時等に援助を受けられる制度。コロナ禍において経済的に困窮した者の支援として本制度の活用が期待されています。

当行では、地域CSRの一環として次世代育成支援活動に取り組んでおります。これからも、様々な取組みを展開してまいります。

以上